

## 令和5年度 第2回 名西高等学校 学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和5年11月2日(木)  
午前9時40分から午前11時40分まで
- 2 場 所 名西高等学校 会議室
- 3 参加者  
河崎会長、西岡委員、森根委員、小林委員、久米委員、安達委員、喜多委員、  
小山委員、向井副会長、平田教頭、前田教頭、竹田教頭、新居総務課長、  
向井境芸術科長、佐藤教務課長、横田進路指導課長、村山生徒指導課長
- 4 内 容
  - (1) 会長挨拶
  - (2) 学校長挨拶
  - (3) 協議
    - ア 本年度の重点取組について  
向井学校長より次の項目について説明、承認された。
      - ① 本年度の重点取組
        - ◇ループリックを用いた授業改善
          - ・小規模故に可能な、きめ細かな指導を通じ、団結力のある教員集団の力を結集し、授業や教育活動全体で主体性を育てる教育の実践
          - ・目指すべき生徒像として、「自分で考え、自分の意見を持ち、自分の言葉で表現できる生徒の育成」
        - ◇普通科の魅力化
          - ・教員研修、授業参観週間の実施
          - ・ループリック集と3観点の評価(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」)との整合性を図り、指導と評価を一体化
        - ◇芸術科の魅力発信
          - ・各種コンクール等への取組、地域貢献、ホームページの充実
      - ② 生徒心得見直し
        - ◇名高生のあるべき姿を踏まえた生徒心得の見直し
          - ・生徒会長の呼びかけ、各HRでの意見交換、生徒会による意見集約、生徒会役員最終検討委員会、先生方との意見交換会

- ・心掛けること「自分たちで考え、自分たちの意見を持ち、自分たちの言葉で表現する」

◇「規則やルールはどうあるべきか」「見直すべき生徒心得について」の意見の概要

- ・「学校や生徒の意見を踏まえ、それぞれを尊重した規則やルールであるべき」「今自分たちが生きる社会では何が大切で、そのためには、何が必要か、一人一人が考えていかなければならないと思う」など

③ 創立100周年記念事業について

- ・図書室、自習室、トレーニング室の整備、モニュメント設置等

## イ 意見交換

○ルーブリックを活用した授業改善について、成績表にも反映されるのか。生徒に対してのフィードバックはどのように行うのか。

▷成績表など家庭へのフィードバックについては、まだできていない。本人に対しては、ルーブリックの表を用いた自己評価とそれを用いた声かけを行っている。評価の生徒との共有については今後の課題として取り組んでいきたい。

○先生と生徒の距離が近いことや、生徒心得の見直しを組織的に推進している点は良い。さらに、学校内だけでなく、社会とのつながりをもたせることが大切。地域の人とフリーで話す機会・スペースを設けるなど、外から人が入る体制を作ってはどうか。

▷生徒心得の見直しは、生徒会の自信にもなった。地域の声も聞きながら地域に愛される学校を目指していきたいと考えている。

○普通科の芸術の授業を見せていただき、普通科の生徒も専門的な授業を受けられる点で、芸術科の存在は大きいと感じた。普通科の生徒と芸術科の生徒との交流はどのように図るのか。

▷部活動では、普通科の生徒と芸術科がおり、互いに交流することができている。

○高原小、高川原小のプールのメモリアルウォール、石井町総ぐるみ人権啓発研修大会、その他、子どもたちが芸術に触れる機会の提供など、地域で活躍していただいている。今後も引き続きご協力いただければありがたい。

▷芸術科だけでなく、本年度は、普通科で「名西EnglishCamp」を実施し、地域の中学校からも参加いただいた。名高パトロール隊、ボランティアフェスティバル、こども食堂などの地域のイベントにも多数参加し、本校生徒の良い学びの機会にもなっている。今後も、積極的な参加を

促し、地域・社会の一員であるという自覚をもってもらえるようにしていきたい。

- 校舎内や授業のようすなどに名西らしさを感じる。生徒数が減少している中でこの学校のリソースを上手に活用していくことが大切だと感じる。生徒と先生が近いことは、学ぶきっかけにつながる。小規模だからこそそのメリットとなっている。生徒が先生になる機会をつくってみるのも良いかもしれない。学校が、学びのきっかけをつくり、学ぶ気になった生徒のサポートをしっかりとやっていくことで、この学校が、「とがった」面白みのある学校、子どもたちにとって選択肢の多い魅力的な学校になれるのではないだろうかと感じる。
- きめ細かな指導、校舎内に展示されている作品、地域との交流など充実している。中学生に対しては、SNSで情報発信をするのも有効なのではないか。
- 電子黒板での授業のようすなど、授業改善が進んでいることがよく分かった。進学実績にもつながっており、地元中学の生徒をしっかりと伸ばし地域とともにやっているというPRになっている。芸術科についても、ここ数年、新聞等でその活躍が報道されている。男子のセータを導入することのことだが、100周年を機に制服を新しくすることはしないのか。
  - ▷今回の意見の中で、制服を変えて欲しいという声はあまりなかった。また、ブレザー等の制服には費用がかかるという面もあり、現状はそのままとしている。今回の御意見を踏まえ、今後も検討したい。

#### ウ その他

- もし活動スペースが不足しているなら、駐輪場を有効活用してはどうか。
  - ▷特にスペースは不足していないようである。また、駐輪場は、美術の彫刻の作品制作の場として活用している。